

はじめに

2005年度は、前年度の報告書作成が実質的に5月初旬までかかったため、活動企画・計画策定が例年より遅れ、実質的な活動は6月からとなりました。そのため、講演や視察などの案件が例年に比べやや低調となりました。しかしながら、報告書作成においては、新技術報告の件数を増やすことで、例年より充実させることができました。まずは、ご多忙の中ご講演を賜りました富山大学工学部・岡田助教授、見学をご快諾くださいました京阪奈学研都市の株式会社ATRならびにオムロン株式会社綾部事業所の方々には厚くお礼申し上げます。また、新技術紹介をご執筆くださいました各位には、伏して深謝する次第でございます。

本年度はまず、次世代画像技術として大きな期待が寄せられている有機デバイスについてのご講演を企画いたしました。このご講演では、参画企業の将来事業と直結する材料技術および製造技術を中心に極めて有益な情報を得ることが出来ました。

また現地調査としましては、画像やITの先端技術を研究され、企業との連携も活発に進めておられる株式会社ATR視察を企画いたしました。ここでは、画像認識や音声認識の先端技術を拝見することができました。次に、オムロン株式会社綾部事業所視察を行いました。昨今MFPやプリンタの製造現場で導入が拡大しつつあるセル方式の説明をいただき、また実際の導入現場も視察させていただきました。参加された各企業の方々も、熱心に見入られていたのが印象的でした。ここで実地に見られた内容は、今後の社業に役立つものと確信しております。

企画件数といたしましては少ないながら、このように各企画の中身は充実し、参加された方々のお役には十分立てたと考えております。

技術調査は、昨年同様各社新製品の技術動向を各委員が分担してまとめました。MFPは、カラー化の加速、環境へのいっそうの配慮（例えばショートウォームアップ定着、待機電力低減、低温定着ケミカルトナー）、ネットワークの機器としての更なる機能向上とそれによるセキュリティ向上など、この数年の動きが加速されているのが覗えます。プリンタも昨年以上にMFPへの志向を強めています。逆にMFPのプリンタ仕様機も多く上市され、お互いの境界が明確でなくなってきているのも特徴です。

なお今年も、委員各位の負担軽減・作成効率向上・経費削減、さらには参画企業の方々に広く閲覧できる利便性を勘案し、報告書は電子化いたしました。

最後に、ご講演講師、現地調査セッティングにご尽力いただいた方々、ご多忙の中原稿執筆をご快諾いただいた方々、当小委員会委員、そして事務局の皆様には、再度ここに深くお礼申し上げます。この次第でございます。

2006年4月

技術委員会 技術調査小委員会

委員長 伊藤 昇

禁無断転載

2005 年度

ビジネス機器関連技術調査報告書(“はじめに”部)

発行 社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会
技術委員会 技術調査小委員会

〒105-0003 東京都港区西新橋 3 丁目 25 番 33 号

N P 御成門ビル 4 階

電話 03-5472-1101

FAX 03-5472-2511